

みどりの絆
 緑崇流吟道緑水吟詠会会報
 平成二十九年 四月
 2017
 NO.53
 総本部会報編集局発行
 緑崇流事務所
 〒630-8135
 奈良市大安寺西1-334-3
 TEL/FAX.0742-35-6719
 E-mail/m-net@mfv.biglobe.ne.jp

所感



宗家 箕輪 緑崇

花々が咲き新緑が美しい豊かな自然が季節の始まりを伝えてくれます。皆様におかれましては、益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年度が始まり、生活の変化が多くなるシーズンでもあります。現代人の日々は忙しく、まるで流れるよ

うに過ぎ去ってしまいます。

今、世の中が大きな変化の潮流にある中、未知数の部分がありすぎて、人々の願いとは程遠い時代に突入していると感じるべきなのではないでしょうか。今一度、心を打つ詩の力を信じて、お稽古のたびに新しい扉を開いて下さる先生に指摘して頂いた部分を、必死でクリアしていく過程も吟の奥深さを実感出来るかけがえのない時間です。課題詩も次々と変わってまいります。昨日よりも今日、今日よりも明日と一瞬一瞬を大切に自分の可能性を信じて、皆さまが活躍されることを願っております。

更に人生50年であった時代とは平均寿命が延びた今では、15歳を引いたあたりが実年齢だとも言われています。

現在、高齢者とする定義を10歳以上に引き上げようという提言が話題となっている今、大人の習い事が一大ブームになっております。趣味を

のんびり楽しむのも「良し」ですが、目標を立ててステップアップしていくチャレンジと達成感に深い喜びを感じ、それを求めてついつい頑張ってしまう方々もおられるでしょう。

☆詩吟には感動があります。

☆詩吟には出会いがあります。

☆詩吟には不思議な力があります。

大勢の外国人観光客を見ても最近ではさほど驚かなくなりましたが、外国人の日本人への関心は、私たちが忘れていた日本の価値を気づかせてくれることもあります。日本の生活や和の伝統文化を大切に「吟は厳しく！会は楽しく！」をモットーに「限りない前進」をして参る所存でございます。また、一層の責任と使命感を持つて会の発展に取り組んでいかななくてはならないと、意を新たにしております。今後とも変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、幸せの定義は人それぞれですが心身ともに健康であることが大前提です。今後とも皆さま方の尚一層のご活躍をお祈りしまして挨拶とさせていただきます。

平成二十九年四月吉日

(自宅書齋にて)

新「会員手帳」発行にあたって

平成二十八年十月十一日

事務局長 松村緑圭



前回のバインダー形式の会員手帳発行から六年目にあたる平成二十八年十月度の幹事会にて新会員手帳を配布させていただきました。

前回よりのサイズを見直し、見易さを考え手帳サイズからA6サイズへ変更。文字を大きく、携帯性を求めて薄く住所録と共に一冊製本とし、耐久性向上のために表紙はプレスコート加工としました。

会創立四十周年記念事業の一環として平成二十七年に発行を予定しておりましたが、会組織の変更・会則改定、役員改選等と重なり、発行時期は遅れましたが、使いやすく見やすい手帳として発行する事ができました。

会則・大会規定・緑号の心構えなどを確認し、身近な存在として有効活用されることを願ってやみません。

平成 28 年度昇段テスト並びにコンクール大会

高槻現代劇場 平成 28 年 4 月 10 日 (日)

《入賞者の歓びの声》

新人の部 優勝

服部ひびき支部◇山本宗人



この度は、平成二十八年度緑崇流昇段テスト並びにコンクール新人の部で優勝させていただきました、ありがとうございます。

私と詩吟との出会いは、妻(西岡緑優)のコンクールの応援に行った時でした。妻が全国大会で優勝させていただき、日本武道館に出演したのを見てとても感動しました。しかし、まさか、自分が習う羽目(?)になるとは思っても見ませんでした。始める前は、カラオケが得意なのでそれなりにできるのでは!と思っていました。詩吟の難しさに苦戦しています。本当に詩吟は奥が深いです。

昇段テストの本番も途中で声が出なくなってしまう、息切れをしてしまったのでまさか優勝を貰えるとは思っておらず、びっくりしました。仕事が多忙でなかなか練習もできない状況ですが、服部ひびき支部の一員として精一杯頑張つて参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



二段の部 優勝

川西支部◇牧 千里



今回の昇段テスト二段の部優勝出来ました事、本当に夢のようで大変嬉しく思っています。これも故白波

瀬緑齋先生と現在の井内緑叡先生が、丁寧に優しく又、厳しくご指導して頂いたお陰と深く感謝致しております。

詩吟に関しまして何の知識もなく、入会して六年になりますが、その間、三度の手術をし、いろいろご迷惑をおかけしましたが、井内緑叡先生はじめ支部の皆様方の暖かい心遣いに励まされ、お陰様で勇気を貰っています。

これからは健康に気をつけて、マイペースでこつこつと楽しくお稽古頑張りますので、今後共変わらぬご指導とご厚情の程宜しくお願いいたします。



28年度昇段テスト並びにコンクール大会成績

優 勝 山本 宗人	優 勝 宮内 緑郷
準優勝 森井 澄子	準優勝 加藤 緑絆
準々優勝 野田 陽子	準々優勝 西部 緑楠
二級の部	上位入賞 辻 緑鯉
優 勝 菊田 正春	上位入賞 團 緑佳
二級の部	上位入賞 青野 緑飛
優 勝 該当者なし	上位入賞 浅野 緑昇
初段の部	六段の部
優 勝 久徳 佳子	優 勝 松本 緑遥
準優勝 川上 昇	準優勝 島田 緑皓
準々優勝 加藤 稔	準々優勝 加賀山 緑豊
二段の部	上位入賞 中塚 緑庵
優 勝 牧 千里	上位入賞 津村 緑秀
準優勝 安田 啓三	七段・上師範の部
準々優勝 該当者なし	優 勝 福永 緑獅
三段の部	準優勝 小谷 緑楓
優 勝 柳井 孝三	準々優勝 木下 緑鋒
四段の部	特別表彰
優 勝 徳岡 江翔	出吟者 角 緑渉
準優勝 安田 稜翔	
準々優勝 福本 瑞翔	
上位入賞 加賀 梢高	
上位入賞 大海 大毅	

平成28年度昇格者並びに六段・新緑号取得者



六段
西岡 緑 優



七段上席師範
小谷 緑 楓



九段総師範
松村 緑 圭



九段大師範
岩本 緑 利



六段
山本 緑 純



六段
岩田 緑 博



六段
松永 緑 永



六段
雨霧 緑 柚



藤田 緑 峰



安田 緑 風

《新緑号》



六段
宮内 緑 郷



六段
岡嶋 緑 穂

《四段 新担当師範号取得者》

柳井 孝翔	神崎 雅翔	吉村 昌翔	徳富 宥春	山内 起翔	雅 号
孝三	安雅	昌樹	純	純起	名前
南方	南方	ゆる友	服部ひびき	大宮	支部
渡辺 緑翔	渡辺 緑翔	渡辺 緑翔	西岡 緑春	渡辺 緑翔	担当師範

名刺交換会

平成二十八年度上位昇段・昇格者及び新緑号名刺交換会が、六月二十八日(火)午後八時より十三福祉会館で行われました。

第一部

若杉緑高副理事長の司会で始まりました。箕輪緑宗宗会長の挨拶、渡辺緑翔理事長お祝いの言葉の後、上位昇段昇格者の紹介、五段新緑号取得者の紹介があり、続いて緑号の心構えについて宮原緑晃副理事長、辻緑樟幹事長より緑の会の説明がありました。そして、名刺交換会が始まりました。

第二部

新緑号五段及び新六段以上の昇段昇格者を師範と共に研鑽をねぎらう祝宴が、浦田緑鴻副会長の乾杯の発声ではじまりました。頃合い良く、お祝いの言葉を中谷緑洲大師範からいただき、上位昇段者から順次自己紹介がありました。

続いて佐野緑扇大師範、中山緑山相談役よりねぎらいの言葉をいただき、新緑号の代表として安田緑風さんの決意表明がありました。西岡緑春総務副部長の閉会の辞でお開きとなりました。

大範師を載いて

みつわ支部◇岩本緑利

この度、九段大範師を戴く事ができました。喜びと感謝の気持ちで一杯でございます。

四十数年、元気に詩吟を続ける事ができた証であり、自分に対し頑張った褒美にしたいと考え未熟ではございますが、お受けする事に致しました。入会以来、ご指導戴きました歴代、諸先生に有難く厚くお礼申し上げます。

さて、顧みますと悲喜こもごもの思い出が脳裏を駆け巡ります。

中でも合吟で武道館に出場した事です。武道館に出場する機会の少ない中、三度も出場し優勝の栄冠を獲得できたチームの一員であった事が有難く懐かしく思い出されます。

これからも感謝の気持ちを忘れず、一日、一日を大切に大範師の名に恥じない様、頑張つて参りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



六段の認可証を載いて

服部ひびき支部◇雨霧緑柚

この度、六段の認可証を戴きありがとうございました。退職後少しでも元気に過ごせる趣味をと、知人がお世話下さったのが詩吟道場「服部ひびき教室」でした。そこで初めて西岡緑春先生との長いご縁をいただきました。それまで詩吟というものに接したことのなかった私です。

先輩の方々の迫力ある美しい声に、ただただ圧倒されました。その時（詩吟つてすばらしいなあ。でもあんな声どこから出すんだろう？どうしたら出せるんだろう？）元来、音感が弱い私のこと（できるかな。声は出せるのかな）と不安でいっぱいになりました。

でも、お稽古が進むにつれ、明るくあたたかいお教室の雰囲気にも包まれて、声を出すのが楽しく、とても嬉しくさえ思えるようになり、不安はなくなりました。

西岡緑春先生は音程がしっかりしない私に、いつもにつこりなさって「しっかり音を聴いて！」「もっとしっかり音を聴きなさい」とやさしく、時には厳しくご指導くださいました。大会が近づくと、いつも西岡緑春先生のテープを聴いて頑張りました。今で

も音程がしっかりしない私です。ご指導の言葉「音をしっかりと聴く。そして、その音を体の中にしっかりと入れる。」を心に刻みながら「今この時を大切に。」これからも精進してまいりたいと思っております。

先生方、会員の皆さま、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

六段のお免状を頂いて

秋篠支部◇岡嶋緑穂

この度は、六段のお免状を頂き有り難うございます。これもひとえに担当の木原緑侑先生をはじめ緑崇流の皆様又、支部の方々の温かいお支えに寄るものと心より感謝とお礼を申し上げます。

私も詩吟を始めて早いもので二十年の年月が経ちました。声を出すことが好きで始めたころはただただ練習に励み、新人の部では優勝させて頂いたのがとても嬉しかったのを昨日の事のように記憶しています。ですがやればやる程難しく、詩吟の奥の深さを痛感しているこの頃です。

今年八月の終わり頃に風邪から高熱を出し、左側の耳が聞こえなくなり手術を二度も行いましたが、まだ完全に聞こえないので現在は支部も休ませて頂いている状態です。会の行事も勝手させていただいてる事大

変申し訳なく思っております。

詩吟は好きなので快復次第又、今まで通り頑張りたいとおもいますのでよろしくお願い致します。

緑号を載いて

羽曳野支部◇藤田緑峰

この度、五段新緑号を戴き恐縮しております。実力が伴っておりませぬ恥ずかしい限りです。

御名刺を戴き緑峰の名を見た時は、とても嬉しく感激致しました。

何をしても中途半端で諦めてしまふ事が多い私。家庭の事情もあり、なかなか大会も出られず、出ても結果が残せず心が折れそうになった時もありました。それでも詩吟をこれまで続けてこられたのは、福本緑景先生の厳しくも優しく熱心な御指導と支部の先輩である松永緑永さんの御親切の賜物と厚く感謝しております。

吟はお腹から声を出す事が如何に大切で勉強すればする程奥が深すぎて、難しさを実感している日々ですが、これからも緑号の名に恥じない様焦らず楽しみながら精進して参りたいと思っております。

支部、緑崇流の皆様、今後とも御指導の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

第41回 府連出場者決定兼競吟大会

高槻現代劇場 平成 29 年 1 月 8 日 (日)



入賞	入賞	入賞	入賞	入賞	入賞	上位入賞	上位入賞	上位入賞	上位入賞	五位	四位	準々優勝	準優勝	優勝	一般
團幸子	神崎安雅	福本 侑	辻孝彦	田中紀子	大海告子	島田喜久子	矢部加代子	安田厚子	西部重世	木下真次	徳岡知江子	福永直人	浅野滋夫	青野治子	松本八重子

府連出場者決定兼
競吟大会成績

吟行会バスツアー

楽しい

日時 平成28年10月23日(日)
場所 姫路城 塩田温泉
主催 緑の会

八時三〇分出発予定が、一〇分前に全員が揃い、いざシュッパーツ！

途中、トイレ休憩を挟んで、一路、姫路城へ！白く化粧直しをした姫路城は、さらに

大きく白鷺城の名に相應しく堂々と羽を広げていました。会員の皆さんは、好古園を見学し、心静かな安らぎの時を過ごしました。

さて次は、塩田温泉「夢乃井」にて、豪華な料理の大宴会に突入！



恒例の「カラオケ大会」は流暢な辻先生の司会に乗って、三〇人余りが大熱唱！！

宗家の「カサブラカ・ダンデイ」は、詩吟にも増して、大盛り上がりでした。



楽しい時間は早いもので、温泉に入浴する人も少なくアツという間に、和やかで楽しい懇親会は終わりました。

カラオケ大会の審査は、宗家、浦田副会長、井内先生の三人で行い、独断と偏見の中にも、厳正な審査により、順位が発表。



【優勝】加藤緑絆(学園天国)

【準優勝】山内起翔(イヨマンテの夜)



【準々優勝】徳岡江翔(春一番)



【特別賞】安田夫妻(權)



(權) 俺と苦勞をする気なら旅に出ようか
人知れず いいわあなたと一緒になら恋に
運命をあずけます♪

それぞれ、宗家から豪華な賞品を戴き、満足感一杯でした。



その後、ヤマサ蒲鉾の工場に寄り、出来立てでとても美味しい練り物を、お土産として沢山購入しました。

帰りのバスの中では、これも恒例の、ビンゴゲームで盛り上がりました。

参加者全員にいろいろな景品が当たり、楽しい思い出とともに、帰路に着く事ができました。

(記宮内緑郷/レイアウト津村緑秀)

楽しみにしていた旅行



昇段テストで最高齢者表彰を受けた甲南山手支部の角緑渉さんからバスツアーの感想文を寄稿して頂きました。

紅葉の始まりの好季節、楽しい一日を過ごさせていただき、有難うございました。

実は参加出来るかどうか不安をかかえた日程で長崎から帰って来ました。

「ねんりんピック長崎2016ひらけ長寿の夢・みらいのゲートボール大会」に参加させて頂きました。

第一ゲートを通す事が出来るかどうか？ドキドキしながらコートに立ちました。一回で通過出来ますように願いながら打ちました！第一ゲート通過ヤレヤレです。汗も流れて来ます。

この晴れの日を与えていただいた皆様、恩返しができるようにと緊張の連続でした。何とか三戦三勝で負けなしホッとしました。詩吟でマイクの前に立つ時と同じような緊張を感じました。

楽しみにしていた旅行です。おくれなように、お友達と一緒に十三へ！

多分最高齢？だったのでは？…楽しい一日を有難うございました。心よりお礼申し上げます。

夏季吟道大学を受講させて戴いて

日時 平成28年7月16日(土)～17日(日)
場所 成田東武ホテルエアポート



大範師◇若杉緑高

此度、受講の機会を戴きました事、心より感謝申し上げます。開講式にあたり受講生代表として「受講生誓いのことば」を述べさせて戴きました。その後講義が始まり、菅原道雄会長「礼と節を精神とする吟剣詩舞道憲章」、宮田実龍常任理事「コンクールの審査規定」、益中嶋山副会長「公益財団の組織運営と役割」等、財団役員先生による解説。次に漢詩家石川忠久先生の美しい味わいのある漢詩文芸。演出家石川健次郎先生による舞台マナー、姿勢などの見せ方、聞かせ方。最後に尺八奏者河野正明先生の伴奏と調和、詩情を大事に無理のないアクセント、母音への発声法、自分の音域で無理のない滑らかな伸びのある声。吟の実技指導では私も指名され、菅原会長、河野先生から御指導を戴き緊張の極みとな

りました。班長として毎時限前の点呼、詩吟人口の減少と対策の座談会の進行役、まとめの研修会での意見発表などに身に余る経験が大きな財産となりました。有難うございました。今後、緑崇流の益々の発展充実をご祈念申し上げます。御礼のことばとさせていただきます。

「夏季吟道大学とは」

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会が主催で、毎年1回、夏季の二日間、指導者として活躍する日本全国の吟詠家を一堂に集めて『吟剣詩舞道憲章』の礼と節を重んじる吟詠・剣舞・詩舞の根本精神や奥義を学び極めるための講義をする。吟剣詩舞道の発展に貢献。



高槻市文化団体協議会
発足四十周年記念祝賀会を終えて



高槻市文化団体協議会会長◇宮原緑晃

平成二十八年十月九日 高槻現代劇場文化ホール三階(レセプションルーム)に於いて午前十一時より首題の記念式典及び祝賀会が開催されました。来賓として高槻市長様はじめ多数の来賓のご臨席を賜り総勢百三十数名の参加者のもと厳粛且つ和やかな雰囲気の中で無事終了することが出来ました。



音楽、美術、文芸、園芸、古典芸能、洋舞、邦舞、洋楽邦楽、の各団体が日夜四十年間に亘り伝統芸術を継承してゆく活動には五年間の当協議会の会長職を努めさせて頂く中で心から感銘を受けました。

高槻市では「文化の華を咲かす街、市民文化都市 高槻」を目指し平成三十四年の高槻市新文化施設の完成に向けて着工の準備が進められています。私はこれからも幅広い高槻市の文化活動に微力ながら努力して参りたいと思っております。

祝賀会の中で高槻市吟剣詩舞道連盟としてパフォーマンズに参加し辻緑樟先生、赤川緑瑛先生の「吟と舞」の披露をさせて頂き満場の喝采を頂きました。

第30回 関西クラウン吟詠家
ジョイントリサیتال

日時 平成28年8月21日(日)
場所 あましんアルカイックホール

一場の夢 兜の賦

- 第一部 武士の悲哀
- 第二部 群雄の興亡

(当会より出演者)

- 渡辺緑翔 宮原緑晃 加藤緑絆
 - 中山緑山 宮内緑郷 木原緑侘
 - 辻 緑樟 松野緑煽
- (敬称略) 出演順)

第四十四回高槻市吟剣詩舞道
連盟決勝大会 二部優勝

日時 平成28年11月3日(祝)
場所 高槻現代劇場

クローバー支部◇松本緑遥

この度、独吟の部二部で優勝出来
心から嬉しく思っております。

これも偏に渡辺緑翔先生をはじめ辻
緑樟先生のご指導の下、またクローバー
支部の皆様のお陰と心から感謝申し上
げます。

今思えば娘裕子が第二十七回一部
で優勝をさせて頂きました。あれから
十八年、月日が流れ感無量でございま
す。

私の目標は親から子へまた孫へと続
く長い道のりを生涯学習として吟道に
精進して参ります。

緑崇流の先生方、諸先輩方、会員の
皆様どうぞ今後共ご指導の程よろしく
お願い申し上げます。 感謝!!



第四十四回高槻市吟剣詩舞道
連盟決勝大会 連吟の部優勝

日時 平成28年11月3日(祝)
場所 高槻現代劇場

五領支部◇後藤利夫・安田啓三

平成二十八年度の連吟の部に出吟の
機会を与えて頂き、思いもよらぬ優勝
の栄誉を賜りました。これも偏に井内
緑叡先生の勧めと後藤緑川さんの承諾
により実現したものと思っております。
経験の浅い未熟者の私が、と躊躇致し
ましたが、まな板の上の鯉になったつも
りで出吟を決意致しました。

五領支部での練習に加えて淀の原町
シニアクラブ詩吟部での後藤緑川さん
との連日の特訓を受け、厳しい指導に
落ち込む時もありましたが、叱られつ
つ二ヶ月続けた結果が今回の優勝に結
びついたものと思えます。

大会当日は緊張することもなく、余
裕と普段の気持で吟ずることが出来ま
した。幸運も重なりましたが、後藤
緑川さんの励ましのお陰は当然ながら、
故白波瀬緑齋先生、井内緑叡先生は
じめ五領支部の諸先輩方々の心からの
応援があつての事でありませう。今後共、
詩吟を愛し、希望と努力を以つて楽し
く自身を鍛えて参りたいと存じます。

(文 安田啓三)



甲南山手支部岸 緑汀さん
平成二十八年度全国福祉大会で
厚生労働大臣特別表彰

平成二十八年十一月十一日(金) 東
京メルパルクホールにおいて共同募金
七十周年記念行事が行われ、その運動
の奉仕者として永年の功績に対し、厚
生大臣より特別表彰の栄誉を賜われま
した。誠にありがとうございます。



高槻市吟剣詩舞道連盟バスツアー
「吟行会」開催さる!

日時 平成28年9月28日(水)
場所 京都京都伏見桃山稜乃木神社



朝から、
雨の降りし
きる中、八
時半JR高
槻駅を出発
した一行は、
伏見桃山の
明治天皇稜
をめざしま
した。

やがて、バスの中で、吟行会の吟詠
「明治天皇御製の歌」と、乃木希典作「金
州城下の作」を、宮原緑晃連盟会長と
辻緑樟連盟会計部長が先導し、緑崇流
の節で、にわかバス教室が始まりました。
総勢、四十五人が到着した頃には、
雨はすっかりあがり、全員の吟詠が、
声高らかに響き渡つたのであります。
昼食は、盛沢山の料理を、皆さん、
美味しく舌鼓を打つたところです。
その後、黄桜酒造の工場見学に行き、
あらゆる日本酒の試飲をし、すっかり
酔い心地のうちに、帰路となりました。
帰りの車内では、カラオケも飛び出
し、楽しい吟行会は終わりました。

(記 宮内緑郷)

第三回 井内緑叡おさらい会

日時 平成28年12月24日(日)
場所 五領公民館

五領支部◇奥村緑星

今年も三年連続で井内緑叡先生の計らいで「会員のメンバーが一回でも多く、マイクを使用して、人前で吟じる事を経験し、大会において少しでも自分の実力を発揮できるように！」とおさらい会が始まりました。

司会進行は島田緑皓と安田啓三が行い、音響は奥村緑星、大海大叡が担当しました。



十二名三十五曲(府連、吟剣、緑号、昇段)の吟詠は詩文の忘れ、誤読、タムオオーバー、音程ハズレ等があり、又各個人の目標に向けて吟じ、最後は故曰波瀬緑斎先生のリサイタルのCDと一緒に武田節を合吟。

後藤緑川さんの講評で幕となりました。にぎやかに、あつと言う間の楽しい時間でした。

高槻市駅前に移動し、毎年行っている「合同忘年会」へと展開、活躍したメンバーを中心に井内緑叡先生から努力賞、進歩賞等の記念品を頂き、酒宴に入ってから、各自共、今年の良かった事や反省する事や来年への抱負など大いに語り合い、メンバーの「来年の活躍」を祈りつつ散会しました。

新支部紹介

玉造支部

担当講師 津村緑秀

2013年9月に玉造詩吟教室をスタートしました。生徒は集まるのかな? 続けていけるかな? と不安と手探りの中、ひとりまた一人と生徒が集まり、今では、8人に!

渡辺緑翔先生より、「教室を正式に

支部として登録しては!」と背中を押され2017年1月酉年に玉造支部として羽ばたきました。

何分にもまだまだ未熟者でございます。わたくしと生徒共々、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

毎月第1・3木曜日

午後7時から9時まで

大阪市中央区玉造1丁目7-6

地下鉄長堀鶴見緑地線「玉造」駅

③出口より徒歩1分

つむら鍼灸整骨院内にて開講



お近くにお越しの際は、是非、お立ち寄りください。

城内支部

担当講師 宮内緑郷

平成二十八年六月、お弟子さん候補が出来、「一緒に声出しを!」と、勧めて参りました。八月には、五領支部の井内緑叡先生に、教室開設の相談をし、九月には、入会申込を致しました。その後、宗家箕輪緑崇先生と、井内緑叡先生が相談の結果、城内支部として、十月一日付にて教室開場の承認を頂いた次第です。

毎週土曜日 午前十時~十三時

高槻市城内町一番一号

城内公民館にて開催中!

教室の開設にあたり、漢詩を作りましたので、その心情をご覧下さい

城内教室

宮内 緑郷

高槻界限 文化の郷

同胞 相集い 学 旺堂

発声は共鳴し 城下に響く

吟道の精神 常に 駘蕩

シリーズ「多趣多芸」 山よ宜しく

南方支部◇神崎雅翔



子供の頃からボイスカウトのクラブに入って近くの野原や山、海、川と大いに自然に触れてきました。成長するに従い高い山に憧れる様になってきました。そして冬はスキー、夏は登山と一年のスケジュールが決まっています。

山というものは登る事もたのしい(本当は苦しい)ですがその前の準備とか道具の手入れをしてリュックに入れたり出したり何回もします。

もちろん確認の為ですが、それ以上に道具に触る事、触れる事その感覚がたまらないのです。また地図を広げてまだ見ぬ景色、空、雲、風を感じます。それがまた実にいいです。時間を忘れる程です。想像の世

界ですが感性が豊かに成るのを実感できます。自然はいつもやさしく迎えてくれるとは限りません。その時々の一瞬の判断は常日頃の想像力つまり感性が行なってくれると思います。山に入ると何か自分の体がその中に溶け込むような気持ちになります。そんな時本当に此処に来て良かったと思います。

今迄色々な山に行きました。色々な人々に会ってきました。皆たのしい陽気な心むき出しの人たちです。数多くの思い出があります。これからも今まで通り山にお世話になります。山よ宜しく、多くの岳人を受け入れてください。山よ宜しく

楽しかった妙見山頂での バーベキュー

十一月六日(日)曇り 午前十時
阪急川西能勢口駅に参加者八名が集合し、能勢電鉄に乗り換えて妙見口まで乗車、車窓から紅葉が進む山並みを眺めている間に終着駅に到着。そこからなだらかな登坂を約二十分間程歩きリフト乗り場に到着、妙見山頂まで一人用のリフトに乗り山頂へ。空模様曇りであったため気温も低く皆さん寒さを我慢しつつバー



ベキューの出来る会場まで歩き会場売店にてバーベキューセット一式を購入し指定席に全員が到着しました。

福本さん神崎さんの友達三人とも合流、参加者総勢十一人でしたので座席を二座席に分け開始しました。寒いため出来上がるまでに乾杯しアルコールで身体を温めながらバーベキューを腹一杯食べ、にぎやかに談笑、ワインの差し入れもあり適度に身体も温かくなったところで午後二時頃にリフトとバスで妙見口駅まで下山しました。寒かったので暖を取ろうと駅前のお土産さんで「鍋焼きうどん」を食べながら、有志による「五月の箕面の滝巡り」「八月のほたる狩り」「十一月のバーベキュー」を実施したが、今後「緑の会」としてこの様な活動が出来ないか活発な意見交換をし午後五時頃お店を後に帰途につきました。妙見山の緑と紅葉のコントラストに映えた風景、新鮮な空気を胸一杯吸い込んで楽しい一日を過ごすことが出来、良い思い出となりました。

次回のハイキングの計画には大勢の参加者を待つてマース。



(文 宮原緑見)

ニューズ東西南北

大会記録

〈大阪府吟剣詩舞道総連盟〉
 第40回全国吟詠コンクール大阪府北連合大会
 一般二部
 2位 松本八重子 7位 井内鈴子
 一般三部
 3位 木原恵子 6位 松野節子
 7位 米田宇一 9位 浅野滋夫
 13位 福本早苗 14位 島田喜久子

第40回全国吟詠コンクール大阪府大会
 幼年の部
 〈上位入賞〉西岡大輝
 一般一部
 〈上位入賞〉加藤恭子
 一般二部
 〈上位入賞〉松本八重子・西岡悦子
 一般三部
 8位 米田宇一
 〈上位入賞〉石川洋子・西尾康子・松野節子
 浅野滋夫・木原恵子・中山孝彦
 島田喜久子・片山美都子
 福本早苗

第40回全国吟詠コンクール近畿決勝大会
 幼年の部〈入賞〉西岡大輝
 一般一部
 〈決勝進出〉4位 加藤恭子(全国大会へ)

一般二部〈入賞〉西岡悦子
 一般三部
 〈上位入賞〉福本早苗・松野節子
 米田宇一・木原恵子

〈大阪府詩吟連盟〉
 第6回全国ジュニア・シニア燦燦優勝者決定詩吟大会
 (シニアの部)
 〈決勝進出〉4位 中山孝彦
 〈愛連出場資格者〉福本早苗

第58回第一部吟士権者決定詩吟大会
 (一般の部)
 〈決勝進出〉9位 加藤恭子
 〈愛連出場資格者〉宮内幸夫・津村真紀
 石川洋子

第58回第二部吟士権者決定詩吟大会
 (指導者の部)
 〈決勝進出〉5位 西岡緑春 9位 辻 緑樟
 〈愛連出場資格者〉木原緑侑

〈愛国詩吟総連盟〉
 第8回全国ジュニア・シニア燦燦優勝者決定詩吟大会
 〈入賞〉中山孝彦

第71回第一部吟士権者決定詩吟大会
 (一般の部)
 〈入賞〉津村真紀・加藤恭子・宮内幸夫
 石川洋子

第71回第二部吟士権者決定詩吟大会
 (指導者の部)
 〈入賞〉西岡緑春・辻 緑樟

〈日本クラウン株式会社〉
 第45回クラウン全国吟詠コンクール近畿大会
 〈入賞〉津村真紀・井内鈴子(全国大会へ)
 〈準入賞〉徳岡知江子・島田久美

第45回クラウン全国吟詠コンクール決勝大会
 〈決勝進出〉準入賞 津村真紀

〈淀川・東淀川詩吟連盟〉
 淀川 東淀川 詩吟連盟第42回吟士権者決定詩吟大会
 一部〈決勝進出〉準優勝 徳岡知江子
 〈上位入賞〉山本宗人
 二部〈決勝進出〉準優勝 福永直人
 〈上位入賞〉柳井孝三・神崎安雅
 三部〈決勝進出〉5位 福本 侑
 〈上位入賞〉浅野滋夫

〈高槻市吟剣詩舞道連盟〉
 第44回高槻市吟剣詩舞道決勝大会
 独吟の部 一部
 準優勝 中塚宏輝
 独吟の部 二部
 〈決勝進出〉優勝 松本八重子
 準優勝 島田喜久子

連吟の部
 優勝 後藤利夫・安田啓三
 準優勝 島田久美・大海告子

第8回藤井竹外奉賛全国吟詠大会
 〈上位入賞〉宮内幸夫・島田久美
 福本 侑・津村真紀
 福永直人



第二十四回 渡辺緑翔門下温習会

まどか支部
 と羽曳野支
 部の二十周年
 のお祝いに拍
 手!!
 さらに、今
 年高槻の大会
 二部で優勝の
 松本緑遥さん
 と、昨年藤井
 竹外の大会で
 優勝の加藤緑
 絆さんの吟に

続いて中山緑山先生の乾杯とご挨拶
 を頂戴し二部が始まりました。

門下生の吟詠！大範師、総師範
 上席師範の先生方の吟詠、そして来賓
 の先生方の吟詠に続き渡辺緑翔先生と
 宗家先生の吟詠で一部が終了いたしま
 した。

第二十四回

渡辺緑翔門下温習会

日時 平成28年12月4日(日)
 場所 ホテルプラザオーサカ

初冬の青空の中、二年ぶりに第
 二十四回渡辺緑翔門下の温習会が、来
 賓の箕輪緑崇宗家先生、中山緑山先生、
 そして二十何年前に十三北野支部で七
 年間在籍されていました森先生をお迎
 えして開催されました。

ウツトリ!

その後のカラオケタイムでは、新人
 さん達の上手な歌に拍手喝采!

まだまだ時間が足りないくらい和
 気藹々とした時間があつという間に過
 ぎ去り、ふと外を見ると朝の青空とは
 打って変わって雨になっていました。

ちようど、ほどよく潤いをもたらす
 中お開きとなりました。

この会が第二十五回、二十六回と毎
 年開催されますよう祈念いたしてお
 ます。(記 團 緑佳)

第七回

愛連吟詠フェスティバル

日時 平成29年3月5日(日)
 場所 あましんアルカイックホール

(当会より出演者)

若杉緑高 西岡緑春 西岡緑優

(敬称略)



【編集局員紹介】
 写真右より
 津村緑秀
 米田緑海
 宮内緑郷
 團 緑佳

